



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社 あじかん

上場取引所 東 大

コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治  
兼 経営管理部長

TEL 082-277-7010

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,089	3.9	97	△75.8	△0	—	△36	—
23年3月期第2四半期	16,440	0.9	402	△21.9	268	△31.1	76	△61.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △48百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△4.85	—
23年3月期第2四半期	10.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,173	8,392	51.9
23年3月期	16,069	8,533	53.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,392百万円 23年3月期 8,533百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	3.5	700	△30.6	600	△30.7	300	△21.0	39.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	7,700,000 株	23年3月期	7,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	88,761 株	23年3月期	88,661 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	7,611,296 株	23年3月期2Q	7,616,945 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による様々な問題や米国・欧州の財政不安による世界的な景気の停滞、急激な円高の進行など依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても東日本大震災による影響は大きく、様々なイベントが一時的に自粛ムードになるなど、個人消費も急激に落ち込んでおりましたが、その後、復興が進むにつれ緩やかながら回復の兆しも見られるようになりました。しかしながら資源系・穀物系の価格上昇に伴う、原材料や副材料・補助材料コストが企業収益を圧迫するなど厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第8次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、変化の激しい時代を乗り切るため、第一に「ブランド価値の向上」、第二に「継続的な需要創造」、第三に需要創造の一環として中国を中心とした海外へも販売エリアを拡大させた「グローバル化」を目指し、さらなる「自社ブランド品の拡充」「営業基盤の強化」「社内サプライチェーン・マネジメントの確立」「コストダウンの推進」「あじかんブランド品質の向上」を重点施策として取り組んでおります。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の経営を取り巻く環境は厳しく、売上高は17,089百万円（前年同四半期比3.9%増加）となったものの、営業利益は97百万円（前年同四半期比75.8%減少）、これに超円高によるデリバティブの時価評価損などを加えた経常損失は0百万円（前年同四半期は経常利益268百万円）となり、四半期純損失も36百万円（前年同四半期は四半期純利益76百万円）となりました。

なお、セグメント別では、営業部門におきましては、期首において、東日本大震災の影響による消費者の一時的な自粛ムードや東日本エリアの一部顧客が休業状態になるなど、売上高に与える影響はあったものの営業部門全体では、厚焼玉子を中心とした玉子焼類や野菜加工品に加え、自社で企画・開発し国内外の協力工場で生産している自社企画ブランド品、冷凍・冷蔵食品などの仕入商品の需要が増加し、前年同四半期を上回る結果となりました。一方、利益面につきましては、自社製造製品の原料高に加え、国内外からの仕入製商品価格上昇によるコスト増により、前年同四半期比では減益となりました。

他方、生産部門におきましては、当社グループの主要原材料である鶏卵価格が東日本大震災後、主に需給の関係から一時的に高騰し高止まりしたことや、副材料・補助材料、ユーティリティ関連コストが大幅に上昇した結果、省エネ活動など全社的なコスト低減に取り組んでまいりましたが、製造原価率は上昇し、業績に大きな影響を与えました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ104百万円増加し16,173百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ175百万円増加し8,635百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加95百万円、販売政策に伴う商品及び製品の増加43百万円、原材料及び貯蔵品の増加43百万円、現金及び預金の減少61百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少し7,537百万円となりました。主な減少要因は、投資を上回る有形・無形固定資産の減価償却の進行や、投資有価証券の時価評価などです。

##### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ244百万円増加し7,780百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ160百万円増加し6,820百万円となりました。主な増減要因は、仕入に伴う支払手形及び買掛金の増加332百万円、賞与引当金の増加64百万円、約定返済に伴う短期借入金の減少177百万円、未払法人税等の減少63百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ83百万円増加し959百万円となりました。主な増減要因は、長期的な運転資金を目的とした長期借入金の増加94百万円、退職給付引当金の減少16百万円などです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し2,753百万円となっております。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ140百万円減少し8,392百万円となりました。主な減少要因は、四半期純損失の計上36百万円、剰余金の配当による減少91百万円です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント減少し51.9%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し1,692百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、389百万円（前年同四半期比169.2%増加）となりました。これは税金等調整前四半期純損失6百万円を計上したものの、減価償却費324百万円や賞与引当金の増加64百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資本152百万円などが主なプラス要因となったためであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、生産設備の増強投資・メンテナンス投資など有形固定資産の取得が主な内容ですが、投資の抑制などにより、207百万円（前年同四半期比25.0%減少）となりました。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、243百万円（前年同四半期比38.7%減少）となりました。これは主に、借入金の返済による減少（純額）82百万円やリース債務の支払54百万円、配当金の支払89百万円などであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、当第2四半期までの連結および個別における業績等を勘案し、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期通期の業績予想を修正いたしました。詳細は平成23年11月1日に公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,763,620	1,702,506
受取手形及び売掛金	4,035,394	4,130,591
商品及び製品	1,768,932	1,812,411
仕掛品	8,110	6,846
原材料及び貯蔵品	635,891	678,968
繰延税金資産	126,127	141,913
その他	151,980	176,011
貸倒引当金	△29,519	△13,527
流動資産合計	8,460,537	8,635,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,711,091	1,659,029
機械装置及び運搬具（純額）	929,102	987,878
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	24,151	36,243
その他（純額）	201,845	183,438
有形固定資産合計	5,823,486	5,823,885
無形固定資産		
リース資産	27,229	44,299
ソフトウェア	289,791	212,870
その他	25,202	25,216
無形固定資産合計	342,224	282,386
投資その他の資産		
投資有価証券	518,793	486,303
繰延税金資産	93,691	97,347
その他	854,741	868,476
貸倒引当金	△23,997	△20,453
投資その他の資産合計	1,443,228	1,431,673
固定資産合計	7,608,939	7,537,944
資産合計	16,069,476	16,173,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,594,446	2,926,852
短期借入金	2,564,800	2,387,800
未払法人税等	113,132	49,756
賞与引当金	264,000	328,000
役員賞与引当金	25,732	13,023
リース債務	97,349	84,118
その他	1,000,647	1,031,304
流動負債合計	6,660,107	6,820,854
固定負債		
長期借入金	271,200	365,800
退職給付引当金	128,161	111,568
役員退職慰労引当金	292,710	298,750
資産除去債務	42,159	42,423
リース債務	141,967	141,452
固定負債合計	876,199	959,995
負債合計	7,536,307	7,780,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,507,002	6,378,735
自己株式	△64,057	△64,136
株主資本合計	8,644,184	8,515,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,480	△217
為替換算調整勘定	△134,495	△122,806
その他の包括利益累計額合計	△111,014	△123,023
純資産合計	8,533,169	8,392,815
負債純資産合計	16,069,476	16,173,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,440,564	17,089,547
売上原価	12,372,198	13,237,653
売上総利益	4,068,366	3,851,893
販売費及び一般管理費	3,666,277	3,754,615
営業利益	402,088	97,278
営業外収益		
受取利息	649	923
受取配当金	5,158	4,566
通貨スワップ評価益	—	3,289
持分法による投資利益	10,756	8,563
その他	7,957	8,870
営業外収益合計	24,522	26,214
営業外費用		
支払利息	20,834	16,924
為替差損	26,016	53,056
通貨スワップ評価損	43,077	—
長期為替予約評価損	66,001	51,807
その他	1,812	1,856
営業外費用合計	157,743	123,643
経常利益又は経常損失(△)	268,867	△151
特別損失		
固定資産除却損	3,531	2,792
投資有価証券売却損	107	—
投資有価証券評価損	12,045	3,550
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,937	—
和解金	27,500	—
特別損失合計	75,122	6,342
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	193,744	△6,494
法人税、住民税及び事業税	135,209	36,844
法人税等調整額	△18,241	△6,408
法人税等合計	116,967	30,435
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	76,777	△36,930
四半期純利益又は四半期純損失(△)	76,777	△36,930

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	76,777	△36,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,128	△23,698
為替換算調整勘定	△25,317	8,223
持分法適用会社に対する持分相当額	—	3,466
その他の包括利益合計	△55,445	△12,009
四半期包括利益	21,331	△48,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,331	△48,939

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	193,744	△6,494
減価償却費	318,752	324,042
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,937	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	87,000	64,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,509	△12,709
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,492	6,040
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△23,100	△16,593
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,724	△19,535
持分法による投資損益(△は益)	△10,756	△8,563
受取利息及び受取配当金	△5,808	△5,490
支払利息	20,834	16,924
通貨スワップ評価損益(△は益)	43,077	△3,289
有形固定資産除却損	3,531	2,792
投資有価証券評価損益(△は益)	12,045	3,550
売上債権の増減額(△は増加)	△88,596	△97,831
たな卸資産の増減額(△は増加)	△176,959	△81,637
仕入債務の増減額(△は減少)	247,795	331,975
未収入金の増減額(△は増加)	168	23,593
未払金の増減額(△は減少)	△7,677	△20,552
未払消費税等の増減額(△は減少)	△79,702	6,403
その他	△12,729	△17,347
小計	540,816	489,275
法人税等の支払額	△396,084	△99,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,731	389,669
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△4,166	△4,241
投資有価証券の売却による収入	3,392	—
投資有価証券の償還による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△271,282	△177,814
無形固定資産の取得による支出	△17,729	△18,810
利息及び配当金の受取額	5,801	5,488
その他	△3,439	△12,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,423	△207,944
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	△300,000
長期借入れによる収入	100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△176,600	△182,400
利息の支払額	△19,119	△17,001
リース債務の返済による支出	△95,475	△54,412
自己株式の取得による支出	△74	△78
配当金の支払額	△106,484	△89,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397,753	△243,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,427	849
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△535,873	△61,114
現金及び現金同等物の期首残高	2,344,384	1,753,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,808,510	1,692,506

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,440,722	—	16,440,722	△158	16,440,564
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,067	4,381,505	4,382,572	△4,382,572	—
計	16,441,789	4,381,505	20,823,294	△4,382,730	16,440,564
セグメント利益	1,174,051	174,632	1,348,683	△946,595	402,088

(注) 1. セグメント利益の調整額△946,595千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△949,841千円及びたな卸資産の調整額9,359千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,089,547	—	17,089,547	—	17,089,547
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,464	4,612,010	4,613,474	△4,613,474	—
計	17,091,011	4,612,010	21,703,021	△4,613,474	17,089,547
セグメント利益	1,171,595	11,231	1,182,826	△1,085,548	97,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,085,548千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,031,099千円及びたな卸資産の調整額△54,878千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。